



# 津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



例会日/毎火曜日

例会場/津都ホテル 津市大門7-15

事務所/津市大門10-7

ピッチャーズビル2階

TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/竹内 敏明

幹事/岡部 宏司

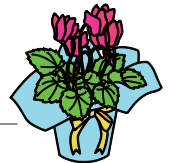
E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp

ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

2016~2017

## 第2461回例会 2017年1月24日(火) 天候 晴

— 1月は職業奉仕月間 —



### 例会予定

1月31日(火)	会員卓話	高林	学会員
2月7日(火)	会員卓話	阿部	祐司会員
2月14日(火)	特別休会		
2月21日(火)	会員卓話	西井	健之会員

### 進行担当

[飯田SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング それでこそロータリー

### 来訪者

[竹内会長]

津RC 長江 正君

### 出席報告

[萩原委員]

1月24日	出席率	48名中	40名	83.33%
1月8日	修正出席率	48名中	45名	93.75%

### ニコBOX

[伊藤(仁)委員]

- 長江 正君 (津RC) メークアップでお世話になります。所用で途中退席させていただきます。申し訳ありません。
- 竹内 敏明君  
 ・大川先生、新年家族例会では大変ありがとうございました。又本日はお忙しい中、卓話よろしくお願ひ申し上げます。  
 ・19年ぶりの日本人横綱が出来そうですね。稀勢の里おめでとう。
- 岡部 宏司君 大川会員、卓話楽しみにしています。よろしくお願ひいたします。
- 伊藤 孝行君 会議所議員総会のため早退お詫び。去る土曜日には我が社の70周年感謝の会終えましたので。
- 川喜田 久君 早退失礼します。

### 会長報告

[竹内会長]

#### ◆ 間欠性跛行について

間欠性跛行とはしばらく歩くと大腿やふくらはぎや足が痛くなったり、だるくなり足を引きずるように歩く跛行を来し、少し休むと治まるような状態を言いますが、この原因には神経性と血管性の2つがあります。

神経性の間欠性跛行には腰椎の変形やヘルニアで神経の圧迫による坐骨神経痛の症状として起こります。

血管性の間欠性跛行は動脈硬化により下肢の血管が詰まり血流が悪くなる閉塞性動脈硬化症が最も代表的な病気で足の狭心症のようなものです。糖尿病や高血圧、喫煙などによる動脈硬化が原因になります。足の甲の血管(足背動脈)の拍動が触れにくくなり、足の血管造影やMRAなどの検査で診断がつきます。

そのほか血管性の間欠性跛行には比較的若い人に起こるバージャー病があります。バージャー病は手足の動脈の内膜が炎症により血管が詰まり足の趾などに潰瘍ができ黒く壊死になります。男性に多く男女比は10:1、これは喫煙者に起こる病気で1万人ほどいるといわれています。何れにしても閉塞性動脈硬化症もバージャー病も喫煙が大きく関与しています。禁煙の輪を広げましょう、禁煙は明日からではなく今からです。

### 幹事報告

[岡部幹事]

- ★ 2月28日(火)職場訪問例会の件
- ★ 岩井純朗氏入会の件
- ★ 例会変更 1件

村木 正二君 大川さん、本日卓話でお世話になります。

大川 吉崇君 本日、久々の卓話をさせていただきます。三重県は律令以来の四つの国、しかも、西の文化のところ東の文化が入り東西混淆(こんこう)の面白いところ。県内の食からお話させていただきます。宜しく願います。

吹戸 研一君 先日沖繩・石垣島マラソンに出場。24km完走しました。春の様な気温の中、島の景色を楽しみながら気持ち良く走れました。大川先生の卓話楽しみに拝聴致します。

薄井 美弥君 寒い日が続きます。皆様こんにちは、吉村様先日はありがとうございます。大川さん卓話楽しみに拝聴させていただきます。

大川吉崇会員の卓話楽しみにしています。!

千原一典君、吉村哲夫君、萩原 大君、西井健之君  
山本哲也君、中山 敏君、土田研輔君、松田英明君  
山口満也君、伊藤孝行君、後藤修一君、何川 高君  
今西孝彰君、旭 晋君、中尾哲也君、刀根大士君  
佐々木喬君、樋口直人君、奥田邦雄君、三浦敏秀君  
高林 学君、阿部祐司君、小泉智英君、澤田勝志君  
庄司正樹君、栗田 明君、飯田 聡君、林 裕行君  
伊藤 仁君、千代延都男君、日南田隆司君  
今野信太郎君

## 新潟津南RC 島田 繁会長からの御礼文

津南ロータリークラブ 御中

拝啓 久しくご無沙汰いたしておりますが、皆様にはお変わりございませんでしょうか。

昨日は、豪雪お見舞いのご丁寧な電報をいただき、会員一同心から有難く御礼申し上げます。

昨年同様今年も小雪かと思いきや、12日から本日まで断続的に降り続き、現在積雪1m80cm。いつもの津南町の冬景色になりました。当クラブの会員は、毎日元気に除雪に励んでおります。

テレビ等のメディアによりますと、今回、名古屋や四日市など東海地方も大雪に見舞われたようで、謹んでお見舞い申し上げます。くれぐれもお怪我と事故にはご留意され、会員の皆様のご活躍のほど心からお祈り申し上げます。

まずは、とり急ぎ書中をもちまして御礼申し上げます。

2017年1月17日

津南ロータリークラブ  
会長 島田 繁

## 会員卓話

### 三重県の多様な食文化と食生活

大川 吉崇 会員

明治・大正期に生まれた方々は、戦前・戦中・戦後の激動の歴史を総て体験されてきた。私が聞き書きをしてきた話者の一番若い方は大正10年生まれである。この方々は、平成に入るころまでは、生まれ育った故郷の生活の原風景をあまり語られなかった。それは調査を重ねる都度感じた事だが、古老側に負の遺産との錯覚があることが判った。即ち、子ども時代や青年期の生活を語ることは、生まれ育った家や地域が、今と比べようも無い貧しさとして捉えられるのではないかとの不安感が伴っていたことが大きな一因となっていた。そして、大正時代から昭和10年頃の古老の生活を支えていた精神性や価値観、また生活そのもの総てが評価されない戦後の社会が、

古老たちの不安に拍車をかけたように考えられた。それが平成に入って暫くして、生活を正面から見ていく思考方法が一般的になり、古老自身その呪縛を解くこととなっていったように感じられる。この呪縛解除は、他県と比べれば20~30年遅れていた三重県である。そうした中でも50年前から語っていただいた古老の方々の生活体験は、実に多様であった。日本の中央部に位置して自然も文化も東西南北が交じり合い、しかも律令以来の四つの国から成り立ち、そこに2千年の歴史がある太古の文化継承と日本人の心の聖地伊勢神宮の所在地ゆえ、この県の多様性は聞き書き以前から期待するところであったが正にそれであった。日々の質素な生活や、年中行事や人生儀礼の節々にも多様な文化が認められる県である。これを次の世代に、ここまで三重県の姿が判りましたと継承する資料作りが私たちに課せられた責務と、仲間を集い、仕事の合間に聞き書きを続けてきた。短い時間でどこまでお伝え出来ましたか…。この機会をいただけたことに感謝しています。

## 例会変更のご案内

伊勢度会RC 2月1日(水) 7:00~ 岩戸屋にて  
2月22日(水) →23日(木) 18:30~

早朝参拝例会のため  
伊勢シティホテル2F 平安・桃山の間にて  
伊勢南RCとの合同例会のため

3月1日(水) 特別休会

※ビジター受付は、ホテルフロントにて12:30~13:30まで受け付けます。